

小樽にカジノを誘致する会 設立趣意書

小樽観光の人気の要因は、明治時代以降北海道の流通拠点港として栄えた街の歴史と文化や遺産が坂、山、海などの自然景観と調和し、加えて充実した食文化が観光客に「やすらぎ」や「癒し」を提供していることにあると考えています。

観光の街として脚光を浴びる一方、小樽市は人口の減少や高齢化の進展、雇用水準の低迷等厳しい経済環境にあります。

北海道観光の最大の弱点は冬期間の観光入込客数の落ち込みにあります。小樽市においては恒常的な宿泊率の低迷も挙げられます。

自由民主党政務調査会観光特別委員会カジノ・エンターテイメント検討小委員会がまとめた「我が国におけるカジノ・エンターテイメント導入に向けての基本方針」によりますと、来訪する国際観光旅客や多様化した国民のニーズに対応する新たな観光資源の開発を求めており、中でもカジノ・エンターテイメントは経済波及効果、収益を用いた新たな財源、周辺地域の税収増・雇用増などをもたらすことから内国人向けの施設としても有効であり、新たなエンターテイメント産業の創出にも大きく寄与することから、数年以内の導入実現を図るべきと記されています。

現在、我が国では、賭博行為として禁止されているカジノですが、今や我が国を除くG8諸国はじめ120カ国超で合法化されており、外国人観光客の増大や滞在型観光の伸展に有効である他、地域経済活性化の観点から地元の雇用対策や消費の拡大、さらには既存観光施設と連携した新たな観光資源の掘り起こしに繋がるなどの相乗効果も期待されています。

カジノの実現については、法整備はもとより、青少年対策や依存症対策、市民コンセンサスの形成などの課題はありますが、小樽市が国内・海外に対して魅力溢れる観光地であり続けるために、カジノは街の活性化戦略の中でも重要な観光振興策であると考えます。

日本におけるカジノの法制化を見据え、将来の小樽エリアでのカジノの実現が、小樽市の地域振興及び国際観光振興に寄与するものとして、様々な調査、研究等を行い、カジノの誘致を目指すことを目的に「小樽にカジノを誘致する会」を設立いたしました。

つきましては、趣旨にご賛同を賜りぜひご入会下さいますようお願い申し上げます。

平成20年12月

小樽にカジノを誘致する会
会長 眞田 俊一